

科 目 名	日本国憲法（遠隔）				
配 当 学 年	1 年	必修・選択	選択必修	CAP制	対象
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	岩本 一郎（非常勤講師）		単位認定責任者	岩本 一郎（非常勤講師）	
実務経験の有無	無				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	-				
授業科目の概要	<p>1. 憲法を学ぶということは、憲法をより良い社会を作るための「道具」として使いこなす知識とスキルを学ぶことです。使い方を知って実際に使うことが大切です。</p> <p>2. 日本国憲法には、70年以上にわたって積み重ねられてきた裁判所の判決と政府による実践があります。この講義では、このような判決と先例によって肉付けされた、「生きた日本の憲法」を学修します。とくに基本的人権の保障を中心に講義します。</p>				
授業科目の到達目標	<p>1. 人権保障に関する基本的な事項を正しく理解し説明することができる。</p> <p>2. 人権保障に関する判例・学説の流れを的確に指摘することができる。</p> <p>3. 判例・学説などの知識を踏まえ、日本の政治の現状を批判的に考えることができる。</p> <p>4. 日常生活において遭遇する人権問題を憲法に関連づけて論ずることができる。</p> <p>5. 新聞等で報道される裁判について憲法を当てはめ妥当な解決を示すことができる。</p>				
学修成果評価項目（%）および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	20 %	定期試験		
	専門知識	30 %	定期試験		
	倫理観	%			
	主体性	20 %	eラーニング取組状況、授業内討論の発言		
	論理性	30 %	定期試験		
	国際感覚	%			
	協調性	%			
	創造力	%			
	責任感	%			
授業の展開					
1.	イントロダクション-憲法の基本【対面+Zoom 配信】※予定				
2.	人権の理念と幸福追求権【eラーニング】				
3.	法の下での平等【eラーニング】				
4.	信教の自由と政教分離【eラーニング】				
5.	表現の自由【eラーニング】				
6.	経済的自由【eラーニング】				
7.	生存権【eラーニング】				
8.	選挙権【eラーニング】				
9.	プライバシー-インターネットとAI【対面+Zoom 配信】※予定				
10.	自己決定権-旧優生保護法【対面+Zoom 配信】※予定				
11.	家族と平等-夫婦別姓【対面+Zoom 配信】※予定				
12.	政教分離-那覇市孔子廟訴訟【対面+Zoom 配信】※予定				
13.	表現の自由-ペイスピーチ問題【対面+Zoom 配信】※予定				
14.	選挙権の新判例【対面+Zoom 配信】※予定				
15.	立憲主義と民主主義【対面+Zoom 配信】※予定				

授業外学修について	1. 授業前にテキストの各章扉にあるコラムを各自読んでおく。 2. 授業後に確認テストで不正解であった設問を中心に教科書を読んで復習する。 3. 教科書の発展的な論点について、より専門的な文献に当たり知識を深める。				
教科書	岩本 一郎『絵で見てわかる人権〔第2版〕』（八千代出版・2017年） 対面授業では、最新の最高裁判決のコピーを配付する。				
参考文献	中村睦男ほか『はじめての憲法学〔第3版〕』（三省堂・2015年） 中村睦男ほか編著『教材憲法判例〔第5版〕』（北大出版会・2020年）				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	○	×	×	×	○
成績評価の割合	80 %	0 %	0 %	0 %	20 %
成績評価の基準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項	「取組状況等」は、①eラーニングの取組状況と②対面授業の出席状況と討論の参加態度によって評価する。それぞれ10%の割合である。 授業の展開のうち、【対面+Zoom配信】となっている部分については、変更となる可能性がある。				

（日本国憲法（遠隔））